

平成21年9月12日

学 校 長 様
技術・家庭科担当者様
関 係 の 皆 様

長野県技術・家庭科教育研究会
会 長 北 澤 茂 俊

第10回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 長野県大会 実施要項

めざせ！！「木工の技」チャンピオン <技術分野 木工部門>
「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール <家庭分野 衣服部門>
あなたのためのおべんとうコンクール<家庭分野 食物部門>
生徒作品コンクール 長野県選考会

- 1 目 的 この大会は中学校技術・家庭科教育の一環として中学校生徒に広くものづくり教育の実践・発表の機会を与え、技能の向上と生徒の相互の親睦をはかるものとする。
- 2 主 催 長野県技術・家庭科教育研究会 全日本中学校技術・家庭科研究会
- 3 後 援 長野県教育委員会 信濃教育会 軽井沢町教育委員会
- 4 期 日 平成21年10月 2日(金) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール
松本市立菅野中学校中山先生にレポート作品送付しめ切り
あなたのためのおべんとうコンクール
松本市立女鳥羽中学校長谷川先生にレポート送付しめ切り
10月31日(土) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール
あなたのためのおべんとうコンクール
めざせ！！「木工の技」チャンピオン
11月29日(日) 生徒作品コンクール
- 5 会 場 軽井沢町立軽井沢中学校
- 6 運営スタッフ
大会長 長野県技術・家庭科研究会会長 北澤茂俊
副大会長 長野県技術・家庭科研究会副会長 嶋田 勝
審査委員 木工部門 上條 勝 久保田寛人 山田典史 小原貞幸 佐藤洋一
衣服部門 福田典子 佐藤滋子 村松大海子
食物部門 矢島淳子 市場祥子
作品コンクール 各地区のものづくり委員
競技役員 木工部門 伊藤靖(裾花) 大場正明(豊丘) 小林博樹(松島)
仲沢弘一(浅間) 高橋幸彦(中佐都小) 村松勝敏(小諸東)
町田豊文(浅間) 山川能史(上諏訪) 大平亮治(旭ヶ丘)
黒澤茂基(御代田)
事務局 木工部門・生徒作品 小須田広利(軽井沢) 高橋幸彦(中佐都小)
野沢 重徳(清水) 大槻 尚(箕輪)
衣服部門 中山千代子(菅野)
食物部門 長谷川美佳子(女鳥羽)

7 日程

受付	9:00～	(技術棟金工室)
開会式	9:30～	9:50
説明会	10:05～	10:15
競技	10:00～	12:00
昼食	12:00～	13:00
競技	13:00～	14:20
審査	14:20～	14:40 (反省 片付け)
閉会式	15:00～	15:30

8 参加生徒

木工部門	各地区から選考された22名の生徒
衣服部門	作品、レポートを提出し通過した10名の生徒
食物部門	レポートを提出し審査を通過した8組の生徒(チーム)
作品コンクール	各地区で推薦された作品

9 県大会課題

<技術：木工> めざせ!!「木工の技」チャンピオン

各地区から選考された22名の生徒で行う。

120×900×13の桧板から、別紙の手桶を製作する。長野県代表を2名(4名)選考し関東甲信越大会(11月29日 軽井沢)にエントリーする。

評価の観点

1. 木工作業の計画性・合理性・安全性
2. 木工技能の精度・合理性
3. 作品の機能性・精度
4. 製作効率

時間を決めて水漏れ検査を行う。

表面削りを行うこと

<家庭：衣服> 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

10月2日(金)までに 作品およびレポートを菅野中へ

第10回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従って作品を製作し、レポートと共に提出し、審査によって10名に絞ります。(一次審査)

レポートは全日中のHPより創造ものづくり教育フェアのページからダウンロードしてください。http://ajgika.ne.jp/page.php?p=fair_10

作品及びレポートを審査し、10名を選考し県大会を行います。

10名が軽井沢中学校に集まり、実際に3時間で作業を行います。全国大会は3時間半なので、型紙の製作と裁断は事前に行ってくるようになります。

県大会での製作について

使用する布の合計面積は110cm×50cm～100cmとする。(材料費は2000円程度)

裏地はつけずに一重仕立てとする。

立体構成にする。

バッグの口がふさがるようにする。(中身の出ない工夫をする)

デザインの工夫はバッグの本体とする。

・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫。布目の工夫をする。

・入れるものの使用目的に合わせて強度の工夫をする。(縫い目および縫い代の始末)

ポケットは必ずバッグ本体につける。

型紙の作成および裁断は事前に行ってくる。

<家庭：食物> 「あなたのためのおべんとう」コンクール

10月2日(金)までに レポートを女鳥羽中へ

第10回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従って魚を使った弁当の献立レポートを提出し、審査によって8名に絞ります。(一次審査)

レポートは全日中のHPより創造ものづくり教育フェアのページからダウンロードしてください。http://ajgika.ne.jp/page.php?p=fair_10

作品及びレポートを審査し、8名を選考し県大会を行います。

規定課題 魚を使った調理

魚は1匹だけでなく、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でも構わない。

ただし、甲殻類(エビ、イカ、カニ)は規定課題とは考えない。

県大会での調理について

材料費の目安は1人分800円以内。(人数分×800円)

(必要なものは当日持ち込みをする。)

競技の時間は片付けも含めて90以内とする。

献立の中には必ず、規定課題「魚を使った調理」を加える。

お弁当箱と小物は各グループで選び持参する。色、形、大きさは食べてもらう相手に合ったものを使用する。

調理器具は本部で用意するが、特別な用具等は各自持参してもよい。

洗米吸水は競技準備の時間(競技開始30分前)に行ってもよい。(炊飯開始も可)乾物等の処理も同様とする。

エプロン、三角巾、マスク、上履きは各自持参とする。

お弁当のふたをしめて完成とする。

10 生徒作品コンクール 長野県選考会

期 日 11月29日(日) 展示準備・審査 前日

会 場 軽井沢町立軽井沢中学校(ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会会場)

募集作品 各地区で推薦された作品を展示する。(各分野の各部門3点ずつ計12点以内)

内 容 ものづくりフェア委員が技術5点、家庭5点を長野県代表として選考する。

授業内製作作品 部門

技術分野、家庭分野共に、教科の授業内に於いて授業時間内に創造製作をした作品の部門。(総合学習のもの、放課後活動等は含みません。)

自主製作作品 部門

技術分野・家庭分野共に、長期休業や放課後活動等で、技術・家庭科で学習した知識や技術を発揮して製作した創造製作作品の部門。

応募作品の規定など

【大きさの制限】縦+横+高さ=160cm 重量 25kgを超えないこと。

【作品製作費の制限】 部門は、製作費が5000円以下であること。

【制限に関する追記事項】

・家庭分野衣類に関しては、人台に着せられるもの。

・家庭分野、折りたためて郵送できる大型作品については、900mm×1500mm以内各地区ものづくりフェア委員が中心となり作品を選考する。

1 1 めざせ!!「木工の技」チャンピオン課題

規定課題 「ひのき手桶君」

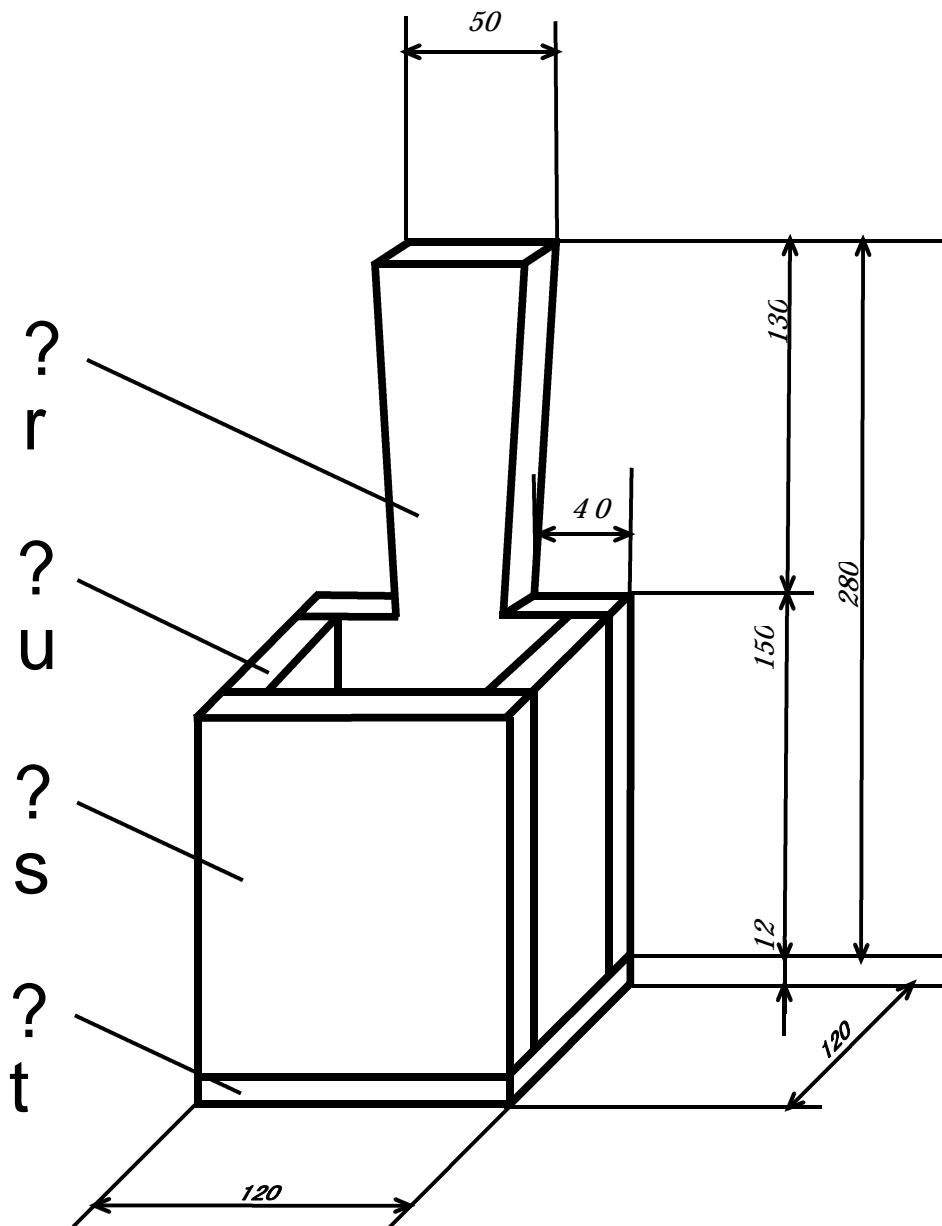
製作時間 120分

審査内容 詳細後日(水漏れ検査を行う)
表面の鉋平削りを行う(0.3mmほど)

部品表

部品番号	品名	材質	仕上がり寸法(例)	数量
	後板	ヒノキ	12×120×280	1
	前板	ヒノキ	12×120×150	1
	底板	ヒノキ	12×120×120	1
	側板	ヒノキ	12×96×150	2

キャビネット図



参考 平成19年度長野県技術・家庭科教育研究会 中信地区研究大会 学習指導案より
(三岳中学校技術・家庭科教科会・木曽郡技術・家庭科教育研究会)